

年末の大掃除前に、インテリアのイメージチェンジはいかがですか。今年は『断捨離』ブーム、流行語大賞にも選ばれたので、整理整頓も楽になります。インテリア小物もイメージを統一して数を押えらると、お掃除も楽になります。インテリアも収納も、気分までスッキリしますね。

住まいの Puti リメイク術

カフェ風インテリアでくつろぐ

おうちの中を、ちょっとオシャレにしてみませんか？

●秋に似合うのは温かみのあるレトロ調

今、人気のインテリアスタイルのひとつがカフェ風インテリア。ポイントはカフェのようにおしゃれで、ゆったりとくつろげる落ち着いた空間をつくること。ひとりにカフェ風と言っても、アジア、和風モダン、レトロモダンなど、テイストは自由自在。お好みや季節に合わせてアレンジしてみると良いでしょう。

これからの季節には、温かみのあるレトロ調のアレンジがオススメです。色使いはダークブラウン、ベージュ、白を基調にオレンジ、緑、黒などを差し色



イラスト・高橋温枝

に、パーソナルチェアや革張りソファ、カフェテーブル、キャビネットなどの家具を取り入れ、レトロなデザインで統一すれば、グンと雰囲気アップ。照明にもこだわらしましょう。フロアスタンドやテーブルランプなどはインテリアとしても楽しめるだけでなく、部分照明によって光と影を演出し、雰囲気をより高めてくれます。

小物はブリキやホウロウ、ガラスの飾り物、ステンレスのフォトフレーム、アートポスターなどが相性抜群。ポストカードや洋書をディスプレイするのもおしゃれです。窓辺の演出にもひと工夫。小窓や出窓には中間部を目隠しする丈の短いカフェカーテンを。大きな窓には木製ブラインドがオススメ。ガラスにウォールステッカーを貼ってデコレーションするのまさにカフェ風。窓の脇には大きめの植物などを床置きすると表情が豊かに。

この秋は、お気に入りのカフェ風インテリアで、極上の“おうちカフェ”を楽しんでみては？

文・佐山奈津子

暮らしの知恵袋

忘れがちな家電のお手入れ

毎日使う家電は日頃のお手入れが寿命のカギに。忘れがちな家電もしっかりケアを。

カビが溜まりやすい洗濯機のお手入れは3か月に1度が目安。50～60℃のお湯を洗濯槽いっぱい張り、漂白剤と粉せっけん1回分を入れて10分ほど攪拌したら一晩放置します。翌朝もう一度攪拌し、カビがすべてくずりネットに入るまで洗濯機を回しましょう。使わないときはふたを開けて洗濯槽を乾燥させることも大切です。

テレビやパソコンのディスプレイは、乾拭きだけでなく、かえて静電気発生の原因に。洗濯用の柔軟剤を水に溶いたもので水拭きすると、表面に薄い膜ができて、静電気やホコリの防止になります。

常に清潔にしておきたい湯沸しポットは、満水の状態でスライスレモン(1～2個分)を入れて1～2時間通電させ、水洗いをすればOK。水アカが残っていたら、お酢と歯磨き粉を合わせて歯ブラシで軽くこすります。

おうちの中を、ちょっとオシャレにしてみませんか？

住まいの Puti リメイク術

機能的&おしゃれなキッチン収納

●使う頻度に合わせて出し入れしやすく整頓

ものが多く散らかりやすいキッチンには、機能的かつおしゃれに収納したいもの。そのためには、アイテムの“使う頻度”と“どう使うか”を考えながら収納することがポイントになります。

まず、よく使うものはオープン収納にすると使いやすさがアップします。たとえば、調理器具はすぐに手に取れるよう、突っ張り棒とS字フックなどを利用して吊るす、空き容器にまとめて立てて収納し、調理台の上に置くといった方法があります。鍋やフライパンもしまい込むより壁面などを利用して吊



イラスト・高橋温枝

るしたり、オープン棚に並べると使いやすくなります。このように“見せる収納”は、質感や色を統一すると見栄えも良くなります。

調味料などは、さっと使えるように、ガス台の近くの棚などに横一列に並べましょう。ほかに、引き出しへ収納する方法も、ひと目で見渡せて出し入れしやすいのでオススメです。

食器は種類別に分け、重ねすぎないように注意。食器棚にしまう場合、奥行きのある棚には同じ器を手前から奥へ縦一列に並べると出し入れがラクです。高さがある棚には皿を立てて収納したり、コの字ラックで2段収納に。小鉢や小皿などの小さな食器をしまうときは、カゴにまとめて、カゴごと収納。これは、ふきんなどの布もの、フォークやお箸などの小物をしまうときにも便利です。

また、使用頻度の少ないホットプレートやストック品などは、シンク下やデッドスペースを活用すれば、キッチンまわりはいつもすっきり！

文・佐山奈津子